

特定秘密保護法の撤廃を求める請願署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

【請願趣旨】

安倍内閣と自民・公明両党は、国民世論を真っ向から踏みにじり、暴挙に暴挙を重ね、秘密保護法を強行成立させました。

特定秘密保護法は、政府の判断によって、どんな行政情報も恣意的に「特定秘密」と指定され、事実上永久的に国民に隠し続けることができる法律です。「何が秘密かは秘密」だとして、国民の「知る権利」が奪われ、「秘密」と知らないまま「秘密」に近づけば、一般国民や報道機関までもが厳しく処罰されます。国会の国政調査権、議員の質問権も乱暴に侵されます。「第三者機関」なるものをつくっても、法律の危険性は何も変わりません。

しかも、法案提出からわずか1カ月余、審議時間は衆参合わせて70時間にも満たないのに、委員会で突然質疑を打ち切り、強行採決されました。こんな議会制民主主義の破壊はかつてありません。やり方一つをとっても、法律として絶対に認めるわけにはいきません。

このように特定秘密保護法は、国民主権、基本的人権、平和主義という日本国憲法の基本原則をことごとく蹂躪（じゅうりん）する違憲立法であり、撤廃すべきものです。

以上の趣旨にたって、次のことを求めます。

【請願事項】

特定秘密保護法を撤廃すること

氏名	住所

秘密保護法の撤廃を求める埼玉の会

【事務局団体】 埼玉憲法会議 埼玉県平和委員会 埼玉県労働組合連合会 埼玉土建一般労働組合 自由法曹団埼玉支部 新日本婦人の会埼玉県本部 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟埼玉県本部 日本機関紙協会埼玉県本部 日本共産党埼玉県委員会 日本国民救援会埼玉県本部 (50音順)

【連絡先】 埼玉県平和委員会 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-10-11 第一木村ビル3階 電話・FAX 048 (838) 8918